

華やかに

二十歳の門出祝う

神崎市成人式

今年も神崎市では415人の新成人が大人の仲間入りをしました。成人式での表情と二十歳の抱負を写真で紹介します。



成人式は、1月7日に神崎市中央公民館で行われ、大人の仲間入りを祝福しました。

今年の成人式の対象者は、平成3年4月2日から平成4年4月1日生まれの415人（男性221人、女性194人）で、320人が出席しました。会場では、振り袖やスーツ姿の新成人であふれ、友人との久しぶりの再会を喜び、写真撮影をする光景も。

式では、松本市長の式辞のあと、新成人を代表して志岐康匡さんが「これから成人としての自覚を持ち、人間として尊敬されること、相手の立場をわきまえた行動ができること、法令を遵守した行動に努めること、感謝の心を忘れず社会に貢献できる人になりま

す」と誓いの言葉を述べました。

式後の茶話会では、新成人によるスクリーンを利用した写真投影会もあり、なつかしい写真の数々に歓声があがっていました。



大役を果たした成人式実行委員会のメンバー達



司会を務めた田中匠さん(左)と一番ヶ瀬敦さん

成人式実行委員会に聞く

神崎市の成人式は毎年新成人自らが企画し、当日の司会など役割を決め運営しています。今年は15人の実行委員が成人式を盛り上げました。

実行委員を代表して司会を務めた田中匠さんと一番ヶ瀬敦さんに話を聞きました。

○なぜ、実行委員に？

田中「大人になる階段を踏み出す気持ちで司会という責任ある仕事を引き受けました」

一番ヶ瀬「最初は、面白そうだと思い受けましたが、新成人代表として責任を持てればと思っています」

○どんな神崎市になってほしいですか？

田中「神崎は、田んぼやクリークが多い。そうめんだけではない、菱の実も有名にしてほしい」

一番ヶ瀬「自然に恵まれ、山や川も美しいことをアピールしてほしい」

二十歳の抱負

